

先人たちの努力に報える私たちがほしい...



柘植地域 まちづくりだより 第218号

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
(柘植地区市民センター内)

発行日 千五二九一四〇二一
電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三
二〇一八(平成三十)年八月十五日(水)

柘植地域俳句コーナー
子の教の
朝顔並ぶ
参観日
森下由紀美

山林の再生をめざして...

8月7日(火)午前、未利用間伐材バイオマス利用研修会を開催しました。

いわゆる「学校林(下町区有地)」にある未利用間伐材を2mに玉切りし、マルタピアに運び計量を受ける実習です。これは昨年9月に行った研修を、市の農林振興課や県農林事務所の協力により、柘植地域として独自に実行したものです。

実行委員長の町田盛次さんが数日前から伐採し、搬出体制を整え、当日、9台の軽トラ荷台へ重機を使って積載。コリドール道路等を通って片道約30kmの道のりを搬送、青山上津にある原木市場マルタピアへ搬入しました。



右写真は、トラックスケールで積載量を測定している様子です。下写真は積み下ろしの様子です。



マルタピアに到着した軽トラから、計量、指定された場所に積み下ろしました。

柘植の山に限らず、全国的に山林は私たちにたくさん恵みをもたらすものであるにもかかわらず、長い期間、放置した結果、各地で荒廃しています。時間が経過すればするほど、手の打ちようが難しくなるという認識のもと、20名がこの研修会に参加しました。各区や各林家が経済的にも価値を見いだしながら、持続可能な山林環境整備



搬出・搬入の実習に先立って、午前8時から市民センターで山仕事をする上での法律のことやバイオマス出荷者登録の方法など、市や県の担当者から詳しく説明を受けました。

という目標に向かって一歩進めるきっかけになった研修でした。
現在は、1トン当たり、6,000円(買い取り額)3,500円+補助金2,500円)ですが、寸法を整えて出すことでさらに補助金が追加されるようになってきました。市や県の動きさらには国の動向にも関心を持ちながら、今後も柘植地域全体で取り組みを進めていきたいものです。

Q:「マルタピア」って?

木材の買い取りや販売を行っている木材市場マルタピアについてご存知ですか?



記録によると、1994(平成6)年に伊賀地域の5つの木材市場を統合して組合が設立されました。ピーク時の売り上げは年間約9億円あったそうですが、外国産材の流入による国産材の価格低下などにより、2016(平成28)年の年間売上は約2億円にまで下がっていたとのこと、同組合の事業廃止を受け、2017(平成29)年4月、東京都に本社を置く「東京木材相互市場」が事業を継承しました。同社は首都圏で木材の製品市場を5か所運営するなど、木材流通に携わっていて、同組合と話し合いを進めた結果、伊賀地域の林業と木材産業を支援しようと、事業継承を決めたそうです。愛称の「マルタピア」も残して、現在に至ります。

(所在地:伊賀市北山1560番地)

柘植地域のスポーツ振興を!

8月7日(火)夜、市民センターで今年度2回目のスポーツ実行委員会が開催されました。今回の議題は次の3点です。

①市スポーツフェスティバル参加に向けて
今年11月11日(日)に行われます。
9月28日を柘植地域の最終しめきりとし、各区体育担当者や区長ならびにスポーツ推進委員で調整を図り、代表チームを編成・決定していく予定です。

②柘植地域スポーツイベントの開催
10月7日(日)午後、柘植中学校体育館で開催します。種目その他をまとめた要項を9月1日発表(募集開始)予定です。

③忍者トレイルランニング大会の支援
11月3日(土)開催に向けて、9月にボランティア募集を開始し、10月13日(土)夜7時半より打ち合わせします。

トカイ野とのばら、忍務ランナー、事務局の有志は、大会ボランティアに協力をお願いします。(写真)

柘植の選抜大会が、全国大会にも参加する予定です。40名以上を募集し、町中を走り回ります。



健康ウォーキング大会

健康福祉部会活動

柘植のホント!かるたの地を訪ねて...



6月23日(土)午前、柘植のホント!かるたを製作した田中重之さんの案内で、かるたに出てくる場所の解説を聞きながらのウォーキングに出発しました。16名の参加でした。市民センターに集合したときから天候が思わしくなく、雨具の準備をしていきました。

都美恵神社の裏山から山道を通って成田不動尊まで歩きました。

続いて柘植公民館では横光利一の碑を見学、その後、野村の利一の母親の実家跡を通って、大和街道を西に歩いて行きました。



そして、中柘植の林昌寺では、写真にあるように、永住職から絵馬に算額の話を実物を見ました。

「斎宮芝」に行ってから雨が降ってきたので、上村の浄化センター付近にある公園で昼食をとり、ウォーキング大会は終了としました。

天気は悪かったですが、歩くのにはよく、柘植地域にいろいろな名所旧跡があることを知りました。健康づくりとともに、とても勉強になりました。

熱中症予防

こんなときに、熱中症にないやすい!
睡眠不足・お酒の飲みすぎ・風邪・朝食抜き等
もしも、症状が出たら...

- ① 衣服を緩め安静に
- ② 涼しい場所で体を冷やす
- ③ スポーツドリンクなどで水分補給等



熱中症の「ほど」、軽度認知障害の「ほど」、知っていますか?

7月21日(土)午後、市民センターで健康講演会を開催しました(参加者25名)。講師には上野病院看護師の奥谷佳緒里さんと作業療法士さん2名にお越しいただき、**熱中症と認知症**についてのお話しをしていただきました。

軽度認知障害(MCI)は治りませんが、何もしなければ10%の人が認知症に移行するそうです。

予防のための活性化プログラムがあるそうで、挑戦してみたい場合、上野病院デイケアセンター(☎26-3521)へ気軽に電話くださいとのことでした。

地域包括交付金第3次見直し案、示される

8月8日(水)
午後、伊賀市地域づくり推進課ならびに伊賀支所振興課とまち協役員で懇談をもちました。

内容は来年度以降の地域包括交付金についてです。

すでに3年前の時点で、市が減額の方角で検討していることはわかっていましたが、このたび示された見直しでは、来年度は現在(平成30年度)より11.8%減、再来年度は21.0%減、その翌年度は30.1%減、そのまた翌年度は39.2%減(4割削減)で基本額(約370万円)ということになります。

まち協の事業や運営方法を見直しつつ、この財政状況をふまえ、今後は地域が抱えている課題に優先順位をしっかりと付けていきながら、必要な課題解決のために交付金を有効活用していくことが必要となってきました。



まちづくり、柘植地域へ

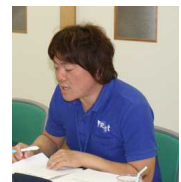
8月6日(月)午後、徳田地区まちづくり協議会(石川県七尾市)の役員5名の方が高速道路を約5時間かけてはるばるお越しになりました。徳田地区では高齢化が進む中、「新



たな支え合い」をめざして、「安否確認ネット」づくりを検討し、おられま

が2016(平成28)年に立ち上がっています。

そのことをふまえて、社会福祉協議会がまち地域支援センターの中森研さんから伊賀市の概要と柘植地域の取り組み状況を説明していただきました。その後、自主防災実行委員の服部さんから「安否確認・避難支援シート」の活用についてや、健康福祉部会長の柘植さんから、「つげふくしネット」の運営状況などを基に率直に意見交換を行いました。



★★事務局だより★★

▼人がいてこそその地域です。人口の自然減以外は食い止めたもの…。そのために結婚や移住、出産により定住人口を増やすことは重要な方向性です。まずは交流人口を増やすこと、すなわち地域のファンを増やしましょう。▼でも「嫌だ嫌だ」と自らがファンになることなく他人にファンになってもらうのは難しい。まずは住人である私たちが柘植を好きになれるかどうか。▼その一つが、柘植公民館!

19日までの展示ですヨ……

「山論文書」の柘植公民館での特別展示は、もうご覧になりましたか?

案内チラシは回覧済み。まち協HPに掲載しています。行政無線でも放送しています。ぜひ、地域随一の展望の地に建つ柘植公民館を訪れて、ちよっぴりタイムスリップしてみてください。(西田方計)